

# 学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 12月号

令和4年12月 2日

校長 大越 敏孝

## 実りの秋から冬へ

～今年の成長を振り返りながら～



10月19日(水)に稲刈りをすませ、稲架(はさ)掛けして天日干しにした稲。運動会を挟んで11月2日(水)に脱穀(だっこく)しました。「脱穀」とは、根元から刈り取った稲の穂先から、粃(もみ)を分離する作業のことです。今はコンバインを使って機械で行う脱穀ですが、せっかく粃種撒きから手作業で育てた稲ですので、明治以降に使用されていた「足踏み式脱穀機」を使って行いました。5年生の米作りの作業も大詰め、一人ひとりが脱穀した粃。3年ぶりの収穫は17.4kgでした。

まさに実りの秋。1、2年生の校外学習「平塚総合公園」では、ルールやマナーを守って動物とふれあったり、遊具で仲良く遊ぶことができました。3年生の「ズーラシア」では、協力してグループ行動で動物園の見学ができました。今までの学習を生かして、自分で考え、友達と共に行動したり協力したりして過ごす力を実践することができました。「学校へ行こう週間」では、いつもとは少し違う緊張感の中、子どもたちがそれぞれに頑張る姿をご覧いただくことができたのではないかと思います。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。12月15日(木)からの個人面談では、お子様の学校での生活や学習の状況を振り返りながら、ご家庭での様子も伺い、お子様のよりよい成長を考える時間にしたいと考えています。お忙しい時季とは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



立冬を過ぎ、季節は秋から冬へと変わりました。そして、2022年も残すところあと1か月となりました。今年も保護者の皆様には、さまざまなご配慮やご協力いただきました。地域の皆様には、児童の見守りでの優しい声かけをはじめ、子どもたちに温かいお心遣いをいただきました。本当にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症により、学級閉鎖になるクラスもできました。第8波の到来とともに、この冬はインフルエンザの流行も懸念されています。3密を避け、マスクの場に応じた着用や手洗いを励行し、心も体もあたたまる楽しい年末年始をお過ごしください。

## 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について



令和4年4月19日(火)に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の本校の結果概要についてお知らせします。

今回の調査内容は、「国語」「算数」「理科」の教科調査と学校や家庭での過ごし方や様々な活動への意欲等を調査する「児童質問紙」による質問紙調査でした。本調査から得られた結果は、児童の学習や生活の状況のすべてを表すものではありませんが、調査から得られた実態や傾向を踏まえ、教員の授業力向上を図るとともに日々の教育活動に生かしてまいります。

なお、6年生には、すでに各自の結果を配付しています。

(P2～3に結果概要掲載)

## 【国語】

○全国とほぼ同様の正答傾向が見られます。

- ・「話し言葉と書き言葉との違い」や「話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと」の中心を捉えること」についての問題で高い正答率を示していました。「登場人物の相互関係について、描写を基に捉えること」「人物像や物語の全体像を具体的に想像すること」に力を発揮する児童も多く見られました。
- ・「文章に対する感想や意見を伝えあい、自分の文章のよいところを見つけること」「互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめること」「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること」「表現の効果を考えること」に課題が見られました。
- ・「漢字を文の中で正しく使うこと（ひらがなを漢字に直す：録画・反省・親しむ）」に課題が見られました。

\*国語の授業の内容がよく分かると答える児童が8割を超えています。「聞くこと・話すこと」においては、話し合いの展開や内容を踏まえ、互いの意見や共通点や相違点、利点や問題点等を明らかにしながら考えをまとめられるようにしていきます。また、「読むこと・書くこと」においては、「何が書かれているか」だけでなく、「どのように描かれているか」という表現面にも着目して読むことを大切にしていきます。互いの書いた文書について感想や意見を述べ合いながら、自分の文章のよいところを見つけることや、児童自らが文や文章を推敲する必要性を実感して書くことができるように指導していきます。

\*読書活動や家庭学習を充実し、語彙を豊かにするとともに言葉や漢字を文の中で正しく使うことができるように取り組んでいきます。

## 【算数】

○全国とほぼ同様の正答傾向が見られます。

- ・「被乗数に空位のある整数の情報の計算をする(1050×4)」「図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について考える」問題では、高い正答率を示していました。また、「分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察すること」や「示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し形を判断すること」に力を発揮する児童も多く見られました。
- ・「示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察すること」や「数量が変わっても割合は変わらないことを理解すること」に課題が見られました。

\*児童は、算数の問題で解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考えたり、もっと簡単に解く方法がないか考えたりしています。また、算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思っており、普段の生活の中で活用できないか考えようとしています。

目的に合った数の処理の仕方を考えることができるようにすることや、基準量、比較量、割合の関係について、日常の具体的な場面に対応させながら理解し、問題を解決したり、考察したりできるように指導を充実させていきます。

## 【理科】

○全国とほぼ同様の正答傾向が見られます。

- ・「問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつこと」ができたり、「提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつこと」ができる問題で高い正答率を示していました。
- ・「日光は直進すること」や「実験で得た結果を、問題の視点で分析し解釈したり、自然の事物・現象から得た情報を他者の気付きの視点で分析し解釈したりして、自分の考えを持ち、その内容を記述する」ことに課題が見られました。

\*児童の8割が理科の勉強は好きと答えています。自然の事物・現象に働きかけて得た事実について話し合い、自分や他者の気付きを捉え、主に差異点や共通点を基に問題を見いだす場面を設定することを大切にしていきます。また、観察や実験などの過程やそこから得られた結果を適切に記録するなど、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付くように指導します。

## 【児童質問紙】

児童質問紙調査による本校児童の傾向は、次の通りです。

- ◎ 肯定的な回答の割合が80%以上のもの
- 肯定的な回答の割合が50%以上80%未満のもの
- △ 肯定的な回答の割合が50%未満のもの

### (1) 家庭生活の状況や地域に関すること

- ◎ 朝食を毎日食べている。
- ◎ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ◎ 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。  
(平日に、2時間以上ゲームをしている児童が4割程度います。)
- △ 学校の授業時間以外に、平日、1時間以上勉強している。
- △ 学校の授業時間以外に、平日、30分以上読書をしている。
- △ 地域の行事に参加している。(コロナ禍により参加する機会が減っている実態もあります。)
- △ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができる。

### (2) 学校生活に関すること

- ◎ 学校に行くのが楽しい。
- ◎ 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ◎ 友達と協力するのは楽しい。
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- ◎ 人が困っているときは、進んで助けている。
- ◎ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談できる。
- ◎ 学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- ◎ 先生は、自分のよいところを認めてくれている。

### (3) 学習や教科に関すること

- ◎ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- △ 国語の勉強が好きである。
- ◎ 国語の勉強は大切だと思う。
- ◎ 国語の授業の内容はよく分かる。
- ◎ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。
- 算数の勉強が好きである。
- ◎ 算数の勉強は大切だと思う。
- ◎ 算数の授業の内容はよく分かる。
- ◎ 算数の授業で学習したことを、普通の生活の中で活用できないか考える。
- ◎ 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。
- ◎ 理科の勉強が好きである。
- ◎ 理科の勉強は大切だと思う。
- ◎ 理科の授業の内容はよく分かる。
- 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている。
- 理科の授業で学習したことを、普通の生活の中で活用できないか考える。
- ◎ 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。

### (4) 自己肯定感・規範意識・将来に関すること

- ◎ 自分には、よいところがあると思っている。
- ◎ 人が困っているときには、進んで助けている。
- ◎ 人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- 将来の夢や目標を持っている。
- ◎ 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。

\*本調査により測定できるのは、学校の教育活動等の一側面に過ぎないことから、本校の取組の成果や課題をすべて映し出しているものではありません。児童のよいところは伸ばし、課題については改善に向けて全教職員で児童の指導にあたってまいります。今後とも保護者や地域の皆様方のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。